

平成 3 0 年度第 2 回

宗像市歴史的風致維持向上計画推進協議会

< 第 2 号議案 >

平成 3 0 年度 宗像市歴史的風致維持向上計画
進捗評価

平成 3 1 年 3 月 1 4 日（木）
海の道むなかた館 1 階 講義室

平成30年度進行管理・評価シート
宗像市歴史的風致維持向上計画（平成29年3月26日認定）
（最終変更平成30年8月13日）

□進捗評価シート(様式1)

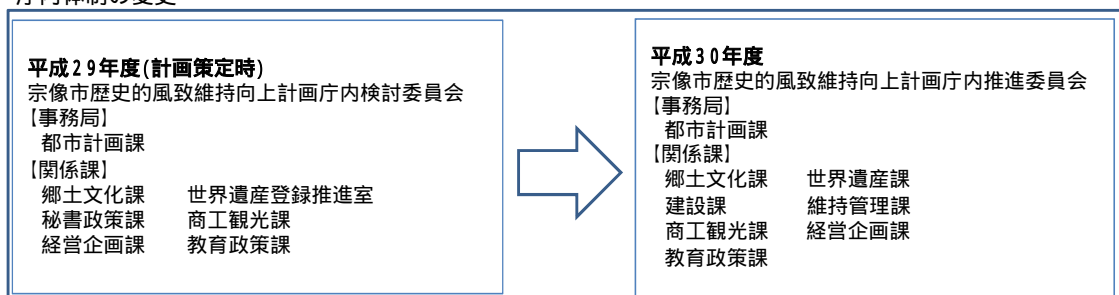
組織体制(様式1-1)	
1 計画の実施体制	1
重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 重点区域における歴史的風致の維持及び向上に関する取組み(都市計画法)	2
2 重点区域における歴史的風致の維持及び向上に関する取組み(景観法)	3
3 重点区域における歴史的風致の維持及び向上に関する取組み(屋外広告物法)	4
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 史跡宗像神社整備事業(沖津宮・沖津宮遙拝所・中津宮・辺津宮)	5
2 歴史的風致形成建造物等整備事業	6
3 歴史的風致等景観整備事業	7
4 道路美装化事業	8
5 まちなみ環境整備事業	9
6 無形民俗文化財等調査支援等事業	10
7 歴史文化資産継承支援事業	11
8 歴史文化基本構想策定事業	12
9 歴史文化資源ガイダンス拠点整備事業	13
10 歴史文化資産普及啓発事業	14
11 観光拠点施設整備事業	15
12 観光受入環境整備事業	16
13 地域活性化支援事業	17
文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財調査、指定、保存管理(活用)計画の策定	18
2 文化財の修理事業、防災に関する事業	19
3 文化財に関する普及・啓発の取組	20
効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
1 (報道等タイトル名)	21
その他(効果等)(様式1-6)	
1 (住民の意識と観光振興)	22
□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	23

評価軸 -1
組織体制

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
計画の実施体制		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	計画策定時に設置した「歴史的風致維持向上計画庁内検討委員会」を「宗像市歴史的風致維持向上計画庁内推進委員」に改編。都市計画課及び郷土文化課が連携し、関係各課と連絡調整を行い、計画の進捗管理などを行う。また、計画推進にあたり、検討事項や懸案事項がある場合などは、「宗像市歴史的風致維持向上計画推進協議会」に報告・提案し、意見を求める。		
定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で			
・宗像市歴史的風致維持向上計画庁内推進委員を開催し、行政部内における各事業の方針決定、進捗管理及び連絡調整を行った。実施回数:2回 ・宗像市歴史的風致維持向上計画推進協議会を開催し、認定変更や各事業の方針、事業評価における意見聴取を行った。実施回数:2回			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

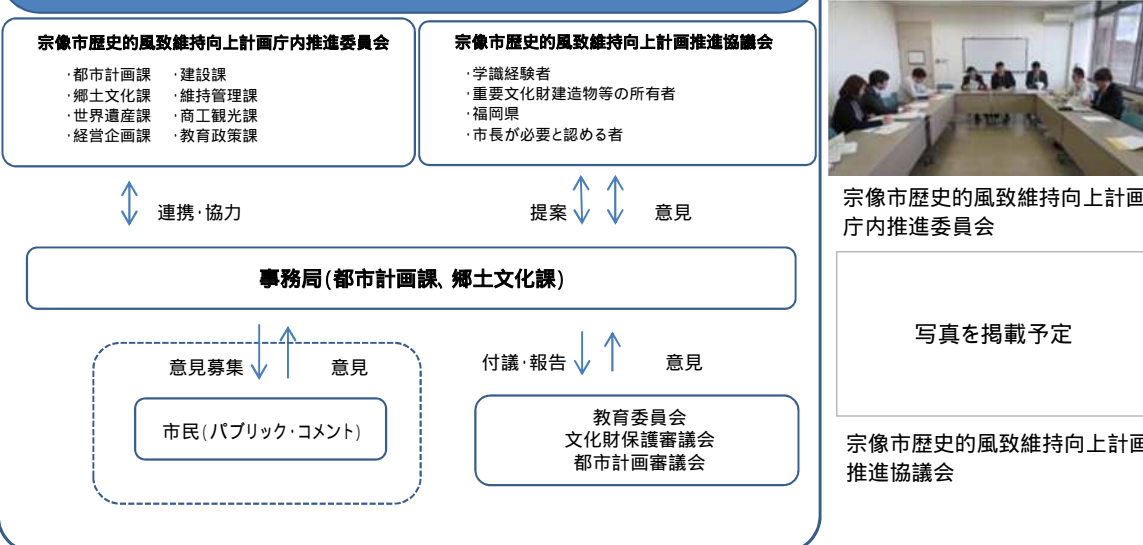
状況を示す写真や資料等

庁内体制の変更



推進体制

宗像市歴史的風致維持向上計画 推進体制

宗像市歴史的風致維持向上計画
庁内推進委員会

写真を掲載予定

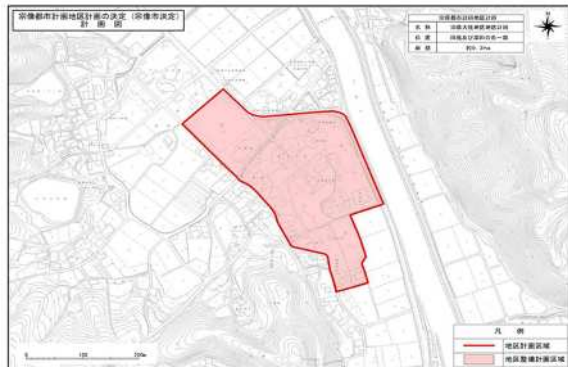
宗像市歴史的風致維持向上計画
推進協議会

- 宗像市歴史的風致維持向上計画庁内推進委員会 平成30年6月15日 平成31年2月1日
- 宗像市歴史的風致維持向上計画推進協議会 平成30年6月26日 平成31年3月14日

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
重点区域における歴史的風致の維持及び向上に関する取組み(都市計画法)		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	本市では、離島を除く市全域が都市計画区域であり、そのうち約17%にあたる1,876haが市街化区域、残りの9,097haが市街化調整区域である。3つの重点区域は全域が都市計画区域外又は市街化調整区域に位置している。		
定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で			
宗像大社地区地区計画により、宗像大社を中心に、歴史と文化を活かした交流を促進する施設や歴史資源を活かした観光施設の誘導を図った。			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

宗像大社地区地区計画の制限内容、区域図

地区整備計画	建築物等に関する事項	建築物等の用途の制限	第1種住居地域内に建築できる建築物のうち、次に掲げる建築物に限り建築することができる。 1 神社 2 結婚式場の用途に供する部分の床面積の合計が 1,500 平方メートル以内のもの 3 店舗、飲食店その他これらに類する用途に供するもののうち政令第130条の5の3で定めるものでその用途に供する部分の床面積の合計が 500 平方メートル以内のもの 4 事務所の用途に供する部分の床面積の合計が 1,500 平方メートル以内のもの 5 図書館、博物館その他これらに類するもの 6 前各号の建築物に付属するもの 7 市長が地区の環境を害するおそれがないと認め、公益上やむを得ないと認めるもの
		建築物の容積率の最高限度	10分の20
		建築物の建ぺい率の最高限度	10分の6
		壁面の位置の制限	建築物の外壁若しくはこれに代わる柱の面から道路境界までの距離は1メートル以上とする。
		建築物等の高さの最高限度	建築物の高さは、20メートル以下とする。
		垣又はさくの構造の制限	垣又はさくを設置する場合は、原則として生垣又は高さ1.8メートル以下の透視可能な材料(高さが60センチメートル以下の部分はこの限りでない。) でつくられたものとする。



重点区域における良好な景観を形成する施策		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
重点区域における歴史的風致の維持及び向上に関する取組み(景観法)		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	「宗像市景観計画」において、エリアや軸、景観重点区域それぞれにおける景観形成の方針や、建築・建設行為、開発行為等を行う際の景観形成のルールを定め、景観誘導を図っている。景観重点区域は、各構成資産周辺の景観保全・形成、大島御嶽山や海上からの眺望範囲の観点から、景観重点区　～　の3つの区域に区分しており、本計画の重点区域は全て景観重点区域に含まれている。		

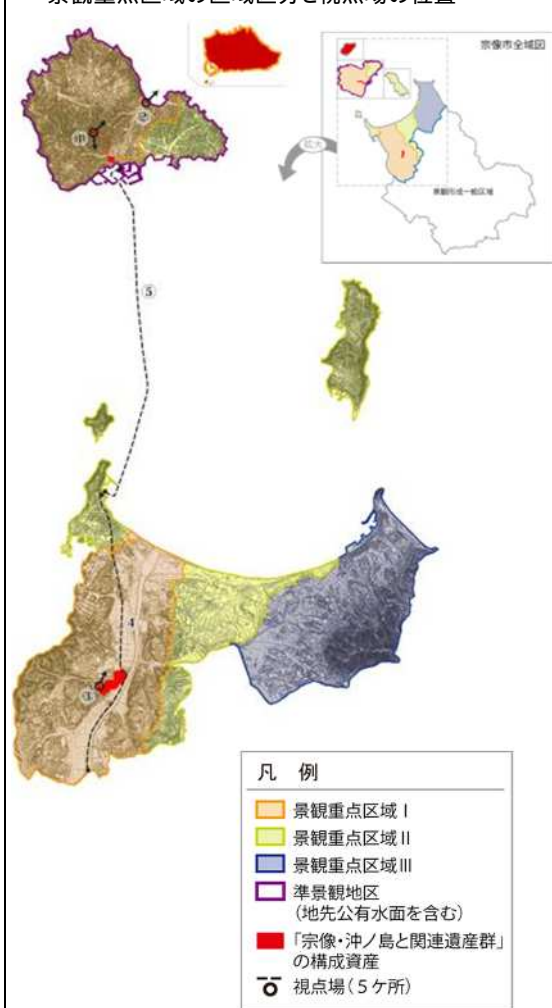
定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

・平成26年策定の「宗像市景観計画」に基づき、一定の建築行為等に対し、良好な景観を守るために規制誘導を行った。
 事前協議・届出実績:平成30年度 67件 うち、重点区域39件
 ・重点区域内の行為については、景観アドバイザー会議を開催し、専門家による助言・指導を行った。 開催回数:5回

進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		

状況を示す写真や資料等

景観重点区域の区域区分と視点場の位置



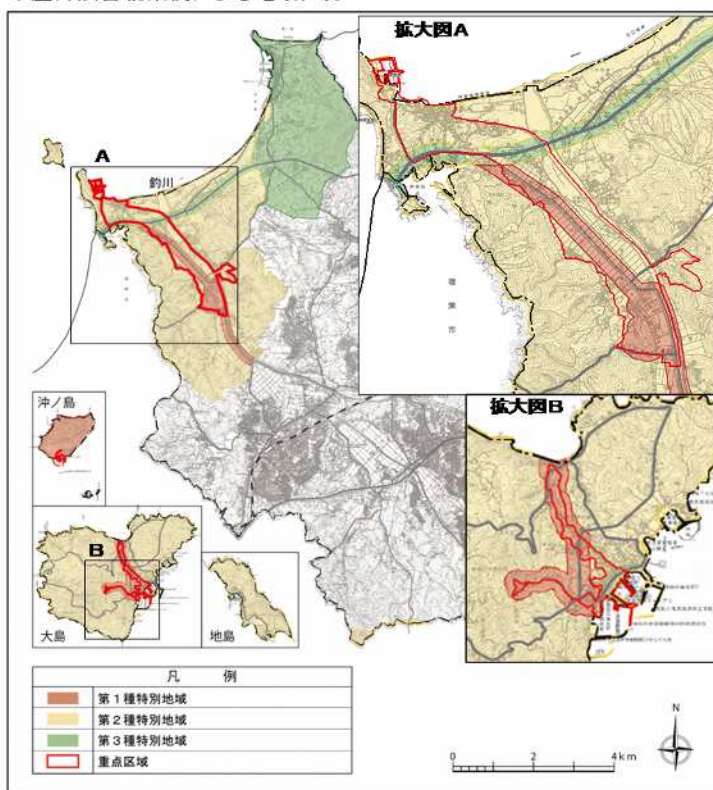
景観重点区域内の届出対象と行為の制限の一部

建築物		景観形成基準		
対象		景観重点区域	景観重点区域	景観重点区域
形態意匠の制限	屋根	- 歴史的風土や周辺の景観との調和を図り、景観の連続性及び一体感を保つため、切妻、入母屋、寄棟等の勾配屋根(3/10～6/10の勾配)とする。 - 屋根素材は、瓦葺などの伝統素材を使用することを推奨し、他の素材を使用する場合は色彩基準(1)に基づいたものとする。	—	
		歴史的風土や周辺の景観と調和した色彩とし、基調色は色彩基準に基づくものとする。	—	
	外観	- 壁面線については、周囲の建築物と調和させる。 - 公共空間に面する外壁は、板張、漆喰、土壁等の自然素材や伝統素材を推奨し、他の素材を用いる場合は、色彩が伝統素材に近いもの、または質感が自然素材に近いものを使用する。	—	
		- 歴史的風土や周辺の景観と調和した色彩とし、基調色は色彩基準に基づくものとする。 - 従属色は外壁各面の面積の1/5以内、アクセント色は外壁各面の面積の1/20以内とし、色彩基準に基づくものとする。 - ただし、着色していない木材・レンガ・コンクリート・ガラス等の材料によって仕上げられている部分は、この限りではない。	—	
	位置・配置		- 視点場(2)からの眺望を阻害しない位置・配置とする。 - 山なみの稜線や松原のスカイラインを阻害しないように、地形に配慮した位置・配置とする。	
	建築設備		- 空調室外機等の屋外に設ける建築設備は、公共空間から目立たない場所に設置し、やむを得ず設置する場合は公共空間から見えないように隠すか、色彩基準に基づき修景する。 - 空調室外機等の屋外に設ける建築設備は、公共空間から目立たない位置への配置に配慮する。	
高さの最高限度		- 高さは、10m以下とする。 - 視点場からの眺望を阻害しない高さとする。 - 視点場からの眺望の背景となる山なみの稜線や松原のスカイラインを超えないように配慮する。 - 周囲の集落景観や田園景観と調和し、突出しない高さとする。	- 高さは、13m以下とする。 - 視点場からの眺望を阻害しない高さとする。 - 視点場からの眺望の背景となる山なみの稜線や松原のスカイラインを超えないように配慮する。 - 周囲の集落景観や田園景観と調和し、突出しない高さとする。	- 視点場から見て、周囲の景観から突出しない高さとする。 - 視点場からの眺望の背景となる山なみの稜線や松原のスカイラインを超えないように配慮する。

重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
重点区域における歴史的風致の維持及び向上に関する取組み(屋外広告物法)		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	良好な景観をより積極的に保全・形成し、風致を維持するとともに、公衆に対する危害を防止するため、屋外広告物法に基づき、屋外広告物条例を施行。 規制内容については、景観計画の内容や地域の特性を踏まえ、3つの特別地域と1つの普通地域に区分し、地域ごとの基準を定めており、本計画の重点区域は、全て特別区域に含まれている。		
定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で			
・平成27年施行の「宗像市屋外広告物条例」に基づき、屋外広告物の設置に対し許可申請を実施することで、本市の歴史的景観等に配慮した規模・数量・色彩などへと誘導を行った。 許可申請件数:11件 ・無許可広告物の改善を図るため、文書による通知などの指導を実施 指導実績:52件			
進捗状況 計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		重点区域における無許可広告物が多数存在し、景観阻害要因となっているため、広告主等に対して文書等による指導を強化し、良好な景観形成への誘導を図る。	
状況を示す写真や資料等			

屋外広告物条例による地域区分



基準の概要(共通基準)

項目	基準
広告物の規模	広告物の面積、高さ及び数量は、必要最小限とすること。 複数の広告物を無秩序に設置することは避け、できる限り集約化すること。
周辺との調和	広告物の形態意匠は、地域特性や周辺環境との調和を図ること。 建築物その他の工作物等に附属する広告物の形態意匠は、当該建築物その他の工作物等との調和を図ること。
色彩や光の使い方	広告物の色彩の基調色は、周辺環境及び建築物その他の工作物等と類似又は融和するものとする。
他法令の遵守	道路法、建築基準法、自然公園法等条例以外の法令の適用を受ける広告物にあっては、これらの法令の規定に適合すること。

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成30年度
現在の状況		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間		平成30年度～平成39年度	
支援事業名		歴史的風致活用国際観光支援事業(平成30年度)、国宝重要文化財等保存整備費補助金(平成30年度)、市単独	
計画に記載している内容		「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」の構成資産である重要文化財宗像大社辺津宮本殿等の建造物の修理・復原や修景、また史跡宗像神社境内の参道、広場、法面等の修景や整備を行うとともに、防火、防犯、防災設備や解説板、登録銘板等の設置を行うことにより周辺環境の整備を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述)		定量的評価は可能な範囲で	
・宗像大社沖津宮社殿の保存修理が実施され、宗像市文化財保護事業補助金交付要綱に基づき保存修理費用の一部を支援した。 竣工：平成30年10月26日、76.6㎡ ・沖津宮遙拝所のトイレ跡等が景観を阻害する要因となっていたため、その跡等を撤去した。			
進捗状況 計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

沖津宮社殿修理



修理前



修理中覆屋



屋根葺替



修理後

沖津宮遙拝所トイレ跡の除去



歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成30年度
		現在の状況	
歴史的風致形成建造物等整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成30年度～平成39年度		
支援事業名	市単独		
計画に記載している内容	歴史的風致を形成する建造物等の整備のため、鎮国寺の参道整備や八所宮の土堀や石垣等の復原や修景、宗像大社辺津宮神門の修景など、歴史的風致形成建造物等の復原や修景を行い、歴史的風致形成建造物等の周辺の環境整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で			
・市指定文化財の八所宮の石垣および土堀について保存修理事業が実施され、宗像市文化財保護事業補助金交付要綱に基づき事業費の一部を支援した。 保存修理事業: 石垣の解体、積み直し、土堀の土づくり			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
八所宮石垣・土堀の保存修理			
 修理前		 石垣番号記入墨入れ	
 解体		 積み直し	
 裏込め石積み		 竣工	

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
歴史的風致等景観整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成30年度～平成39年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(平成30年度～34年度)、防災・安全交付金(道路)、市単独		
計画に記載している内容	歴史的風致の維持向上の一環として、良好な景観を形成するため、無電柱化、道路附属物等の修景、便益施設等の整備、景観阻害要因の除去等、良好な景観形成に資するための整備を実施し、歴史的風致区域の景観整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で			
・辺津宮周辺の無電柱化に向けて基本調査に着手した。 ・「官民連携無電柱化支援事業宗像大社地区協議会」を発足した。 ・宗像大社辺津宮周辺の道路誘導サインの更新整備を実施した。 N=5基 ・鎮国寺周辺の落石防護柵整備に着手した。 落石防護柵(支柱)設置:L=51.0m			
進捗状況 計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		無電柱化については、電線事業者、宗像大社及び関係機関との調整が必要なため、協議会を開催しながら実施する。	
状況を示す写真や資料等			

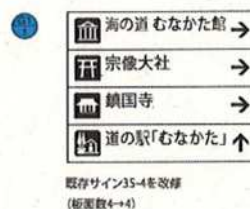
宗像大社辺津宮周辺の無電柱化計画



宗像大社辺津宮周辺の道路誘導更新整備



現行の誘導サイン



板面修正、ポール塗替

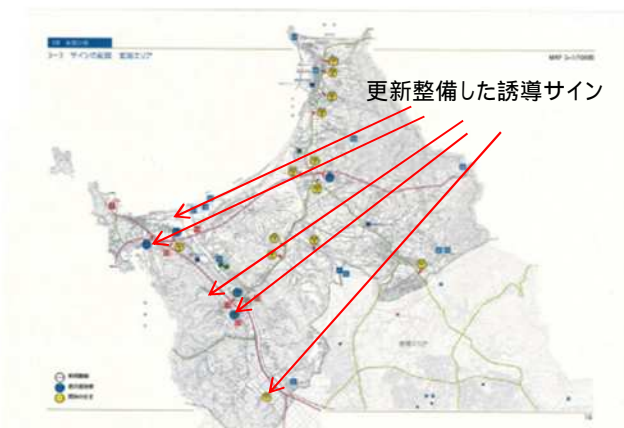
鎮国寺周辺の落石防護柵整備



落石防護柵 L = 51.0m



更新整備した誘導サイン



歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成30年度
項目		現在の状況
道路美装化事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成30年度～平成39年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(平成30年度～34年度)、市単独

計画に記載している内容 歴史的風致の維持向上の一環として、良好な景観を形成するため、主に鐘崎や神湊、大島等の市道の美装化を実施し、歴史的風致区域の景観整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

・大島、地島における事業実施予定の道路状況やガードレール等の交通安全施設が周囲の景観に及ぼす影響を把握するため、現地調査を行った。
 ・宗像大社辺津宮周辺道路について、関係機関と協議を行いながら修景に配慮し、安全施設の更新を実施した。
 カーブミラー:3基、ガードレール:3箇所 87.5m、デリネータ:3基

進捗状況 計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	大島、地島における事業については、現地調査の結果をもとに予算措置や実施計画の方針を決定する。

状況を示す写真や資料等

事業位置における現地調査

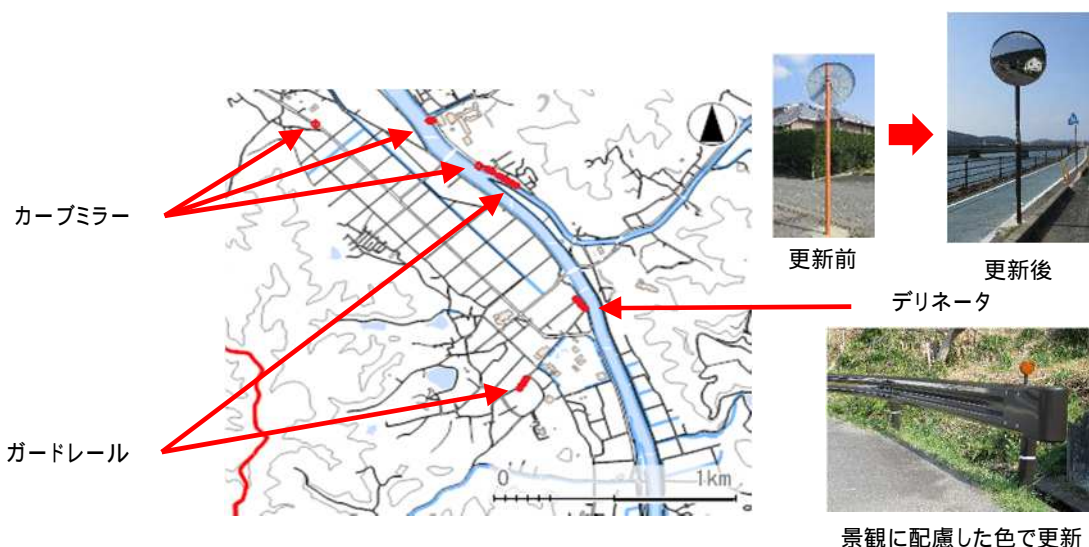


大島の道路

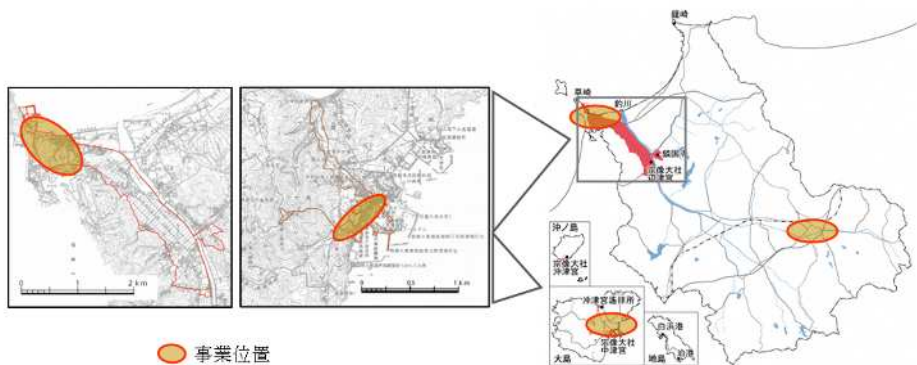


釣川沿岸の道路

景観に配慮した道路安全施設の更新



歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成30年度
		現在の状況	
まちなみ環境整備事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成30年度～平成39年度		
支援事業名	市単独		
計画に記載している内容	田島地区や大島地区等、歴史的なまちなみの維持や再生を図るため、景観法等に基づき、建築物や工作物の外観修景等を実施して、歴史的風致の範囲を中心にまちなみ環境の整備を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で			
対象地域での建築物や工作物の新築及び改築等に対して、適切な助言・指導を行うことで、建築物等の修景が促進され、歴史的なまちなみの再生に向けた取り組みを行った。 事前協議・届出件数:13件			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
事業位置 			
事前協議・届出実績 ● 店舗の新築 ● 電柱(本柱)の新設 ● 既存の基地局にアンテナ等機器類を設置 ● 倉庫の新築(A棟) ● 倉庫の新築(B棟) ● 既存の基地局の色彩変更 ● 川端橋の架け替え ● 既存県営住宅の色彩の変更 ● 道の駅むなかた拡張地の公衆便所の建築 ● 高原調整ゲート扉体塗装、巻上機及び転落防止柵更新 ● 伏越ゲート扉体塗装、巻上機塗装及び機側操作盤更新 ● 大島コミセン内キュービクル囲い壁改修工事			

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度
無形民俗文化財等調査支援等事業		現在の状況 ☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成30年度～平成39年度

支援事業名 市単独

計画に記載している内容 地域の歴史文化資産を後世に引き継ぐため、未指定文化財を含めた民俗文化財の調査や記録、情報発信を行い、多くの人にその価値を知ってもらうための啓発活動等の支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

・新修宗像市史編さん事業の実施に伴い、市内各地で祭礼・行事・くらし等に関する調査が行われ、民俗文化財の価値や調査成果に関する情報発信が行われた。

調査回数:49回(平成31年1月末現在)

調査案件:宮座、山笠(田熊・鐘崎・大島)、鐘崎盆踊り、還暦賀、大島七夕祭、浦のくらし、修験道など

啓発活動:宮座調査講習会 宗像市史研究(第2号)刊行

進捗状況 計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



宗像四国東部霊場参団



鐘崎盆踊り



鐘崎山笠



氏八満神社春季大祭



愛宕神社御神幸



宮座調査講習会

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成30年度
項目		現在の状況
歴史文化資産継承支援事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成30年度～平成39年度	
支援事業名	市単独	
計画に記載している内容	民俗文化財に関する市民活動等を支援し、文化財の保存・継承及び地域の活性化を促進する。特に、民俗文化財に関する担い手や後継者を確保し、伝承の支援を行う。また、伝統的な技術や技法を保持する者と、そのもとで技術や技法を修得し継承しようとする者に対する技術伝承にかかる活動費や地域固有の歴史及び伝統を反映した人々の活動継承に対する支援を行う	
定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で		
・担ぎ手の負担軽減や、みあれ祭継承のため、宗像市文化財保護事業補助金交付要綱に基づき、市指定文化財の宗像大社みあれ祭の陸上神幸で使用する神輿台車の作成費の一部を支援した。		
進捗状況 計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
宗像大社みあれ祭の陸上神幸で使用する神輿台車の作成費支援		
		
平成30年度実績写真を掲載予定		

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成30年度
項目		現在の状況
歴史文化基本構想策定事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成30年度～平成39年度	
支援事業名	市単独 文化芸術振興費補助金の活用を検討	
計画に記載している内容	未指定の建造物や祭り・習俗等の無形の民俗文化財、検証が行われていない埋蔵文化財について、学術的調査を実施し、歴史的史実の把握、価値付けに努め、後世に引き継ぐための問題点を明らかにするなど、その調査結果を総合的に整理し、全容解明に努める。また、調査によって価値が判明した歴史文化資産については、新たな文化財としての指定など、確実な保存と積極的な活用を進めるため、「宗像市歴史文化基本構想」(仮称)を策定する。	
定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で		
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		関係機関等と調整中。 具体の事業は平成31年度以降実施の見込み。
状況を示す写真や資料等		

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成30年度
項目		現在の状況
歴史文化資源ガイダンス拠点整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成30年度～平成39年度	
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(平成30年度～34年度)、市単独	
計画に記載している内容	歴史文化資源の価値が失われないように保存するため、宗像大社辺津宮に隣接する敷地(約34,000平方メートル)に国宝約8万点を展示・収蔵する文化施設をはじめ、中核来訪者施設(世界遺産センター)、文化財保存管理及び研究施設、図書館分館など、延べ面積約6,000平方メートルの施設整備を行い、歴史文化資源の啓発を図る	
定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で		
進捗状況 計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	関係機関等と調整中。 具体の事業は平成31年度以降実施の見込み。	
状況を示す写真や資料等		

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
歴史文化資産普及啓発事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成30年度～平成39年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(平成30年度～34年度、市単独)

計画に記載している内容 市内の歴史文化資産の普及・啓発のため、各種啓発事業を行うほか、子ども向けの歴史学習教室を開催し、小学校低学年から、本市の歴史文化資産や歴史まちづくりを理解する機会を提供する。さらに、小中学校の地域学習を進め、地域の産業や消費生活の様子、諸活動や人々の生活の変化や地域の発展に尽くした先人の働きについて記載し、地域に対する誇りと愛情をもち、地域の一員としての自覚を高める

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

・世界遺産学習の副読本を作成し、全校で世界遺産学習を実施した。また、低学年向けに世界遺産学習の教材を作成し、各学校に配布した。

副読本:平成29年度 9,000部、平成30年度 1,100部

・世界遺産学習に対する支援を行い、本市にある貴重な文化財に触れ合うとともに地域に誇りを感じてもらう機会を設けた。

対象:市内小・義務教育学校

・11月に世界遺産学習全国サミットを開催し、宗像市立学校の全教職員及び全5年生が参加し、全国のふるさと学習の取組を学ぶとともに、市立学校の教職員や児童生徒が宗像市の取組について発表した。

・ふるさと学習における出前授業等のメニューを作成し、依頼窓口を一本化するなど、実施体制を整備した。

出前授業メニュー:17種類、出前学習実施回数:10回、受講者数:1,063人

進捗状況 計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- ☒ 計画どおり進捗している
☐ 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



世界遺産学習副読本



ふるさと学習の様子



世界遺産学習全国サミットの様子



宗像大社でふるさと学習で学んだことを活かして観光客に説明する様子

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成30年度
		現在の状況	
観光拠点施設整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成30年度から平成39年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(平成30年度～34年度)、市単独		
計画に記載している内容	本事業は、歴史文化資産の啓発と観光振興のため、宗像大社等の歴史文化資源と連携を図る特化施設として位置付けている、むなかた観光物産館の整備を実施し、歴史文化資産と観光拠点を活かした地域活性化を図る		
定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で			
宗像市観光物産館(道の駅むなかた)の拡張事業等を実施した。 駐車場等拡張: 10,000㎡(大型車16台、普通車約200台) 周辺施設整備: 芝生広場(約2,000㎡)、多目的スペース(約2,200㎡)、トイレ、宗像観光おみやげ館(木造2階建て)			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
 拡張地(駐車場付近)  景観に配慮した案内看板、手摺り  宗像観光おみやげ館・大階段			

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成30年度
項目		現在の状況
観光受入環境整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成30年度～平成39年度	
支援事業名	歴史的風致活用国際観光支援事業、市単独	
計画に記載している内容	本市の歴史文化資産の魅力、伝統的な活動、まちなみなどについて、観光客等に同行して案内する観光ガイドを専門の養成講座の開催によって養成する。また、歴史文化資産の周辺など来訪者が多い場所において、歴史文化資産の紹介や観光ルート等に関する案内板の新設・改修・修繕を行う。案内板の整備にあたっては、多言語化、通信機器への対応について、ICTの活用を踏まえた検討を行う。歴史文化資産の豊富なまちなかの回遊性を向上させ、市民や来訪者が歴史的風致を感じながら安心して快適に散策できる環境を整備する	
定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で		
・観光ガイドの新規登録促進の取組や登録ガイドの養成講座を実施した。 登録者数:平成29年度 90人、平成30年 106人 養成講座開催回数:9回 ・観光パンフレットやアプリ多言語化を行った。 観光パンフレット:1,000部 ・外国人来訪者向けの観光案内機能を拡充し、受入体制を強化した。		
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
ボランティアガイド養成講座の講義の様子  観光パンフレットの英語版  外国人来訪者向けの観光案内機能を拡充 完成後写真 (平成31年3月末完成予定)		

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
地域活性化支援事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成27年度～平成39年度		
支援事業名	市単独 平成27年度は地方創生加速化交付金を活用		
計画に記載している内容	良好な景観形成の推進や地域活性化の一環として、赤間宿通り等の観光拠点に新規出店を行う者に対して支援を実施する。また、地元まちづくり団体等が実施する活動を支援し、地元と行政が一体となって地域活性化を図る		
定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で			
・「宗像市赤間宿空き店舗新規利用支援事業補助金交付要綱」に基づき、赤間宿通りにおける空き店舗の改装、新規利用を支援した。 空き店舗数:平成29年度 14件、平成30年度 11件 ・「宗像市北部沿道商業地等新規出店補助金交付要綱」を創設し、新規出店を促すなど、地域活性化に向けた新たな取り組みを開始した。			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		赤間宿通りの空き店舗については、赤間宿通り活性化協議会等と連携して、引き続き賃貸化交渉を行う。	

状況を示す写真や資料等



賃貸化前



賃貸化後



古民家の雰囲気を生かした店舗

文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
文化財調査、指定、保存管理(活用)計画の策定		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	本市に存在する指定・未指定の有形文化財(建造物)及び無形文化財について、その実態を把握する取組みを進めるとともに、保存・活用の方策を講じる。		
定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で			
・新修宗像市史編さん事業に伴い、市内東部に位置する歴史的建造物の現状確認と個別の建造物について調査が行われた。 調査建造物: 鎮国寺本堂(市指定)・牧神社本殿 ・史跡宗像神社境内の史跡としての本質的価値を守りながら保存活用していくための「国指定史跡「宗像神社境内」保存活用計画」の策定を行った。			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



鎮国寺本堂



牧神社本殿



牧神社建築部材

評価軸 -2

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		平成30年度
項目		現在の状況
文化財の修理事業、防災に関する事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	文化財の修理は、過去の改変履歴や調査記録などの活用と、新たな調査研究に基づき実施することを基本とする。また、都市計画法や宗像市景観条例、宗像市屋外広告物条例等の関連法と連動し、文化財とその周辺の一体的な保全を図る。さらに、有形文化財については、個別に防災対策を検討し、被災リスクの軽減を図る。	
定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で		
・指定文化財の修理、防災事業が行われ、事業費の支援を実施した。 「福岡県宗像大社沖津宮祭祀遺跡出土品」保存修理、国史跡「宗像神社境内」沖津宮社殿修理、市指定文化財(建造物)「八所宮本殿及び拝殿」石垣及び土塀修理 国重要文化財宗像大社辺津宮本殿・拝殿他防災設備保守点検、国重要文化財鎮国寺木造不動明王立像防災設備保守点検、文化財防ぎょ訓練(宗像大社)、防火査察(市内指定文化財全て)		
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
文化財の修理事業		
 宗像大社沖津宮社殿  八所宮石垣及び土塀		
文化財の防災に関する事業		
 宗像大社文化財防ぎょ訓練(平成31年1月25日)  鎮国寺防火査察(平成31年1月25日)		

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
文化財に関する普及・啓発の取組		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容 市民や来訪者に対して文化財に関する情報や学習・体験機会の提供に努め、意識の啓発を図るとともに民間団体と連携して文化財の保存・活用を図り、担い手育成のための支援や必要な助言・指導等を継続して行っていく。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

・海の道むなかた館にて文化財に関する普及・啓発の取組を実施した。来館者数141,251人(平成31年2月末現在)
 市内小・義務教育学校社会見学(14校1,300人)市内中学校(2校117人)
 海の道むなかた館体験学習(参加人数1,660人)平成31年2月末現在
 海の道むなかた館特別展(開催期間中来館者数20,617人)
 館長講座(実施回数12回 参加人数889人)
 出前(ルックルック)講座(実施回数18回 参加人数928人)
 ・いせきんぐ宗像歴史講座を実施した。
 (実施回数3回 平成30年9月29日41人、平成30年10月13日27人、平成30年11月10日41人)

進捗状況 計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- ☒ 計画どおり進捗している
☐ 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



市内小・義務教育学校社会見学



体験学習(火起こし)



海の道むなかた館特別展
 (平成31年1月1日～2月17日)



いせきんぐ宗像歴史講座

評価軸 -1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル		評価対象年度	掲載紙等
		平成30年度	
出光佐三氏の生涯絵本に宗像JCが出版福教大生が作画	平成30年4月3日	西日本新聞	
出光佐三の立志伝絵本に宗像出身の実業家福教大生描き、小中配布へ	平成30年4月6日	朝日新聞	
沖ノ島を学ぶ副読本完成 今年度から全中校で授業	平成30年4月27日	読売新聞	
市がボランティアガイド養成講座	平成30年5月23日	読売新聞	
沖津宮の社殿修復工事終了	平成30年10月8日	読売新聞	
宗像大社沖津宮修復過程の写真公開	平成30年10月12日	毎日新聞	
世界遺産の社殿修復	平成30年10月14日	西日本新聞	
社殿一新 厳かに	平成30年10月14日	朝日新聞	
宗像大社遷座祭関係者「ホットした」沖津宮工事終了に笑顔	平成30年10月14日	読売新聞	
「窓」沖ノ島で、宗像大社「沖津宮」の社殿修復	平成30年10月14日	日経新聞	
宗像で世界遺産サミット 「宝」伝える学習サミット	平成30年11月16日	西日本新聞	
世界遺産学び伝える	平成30年11月20日	西日本新聞	
宗像大社 備え着々	平成31年1月26日	朝日新聞	
宗像大社で防火訓練	平成31年1月26日	朝日新聞	
宗像大社で防火訓練	平成31年1月27日	毎日新聞	

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

各種事業が新聞等に掲載されたことで歴史的まちづくりの周知につながった。特に宗像大社沖津宮の社殿修復については、複数紙に掲載され、注目度の大きさが感じられた。

進捗状況 計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☐ 計画の進捗に影響あり ☒ 計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等

著作権保護のため、新聞記事は掲載していません

項目	評価対象年度	平成30年度
----	--------	--------

住民の意識と観光振興

計画に記載している内容

本市が有する多数の歴史文化資産の魅力や価値を再認識し、それらを守り、まちづくりに活かしながら、都市の個性と魅力に磨きをかけ、ふるさと宗像への誇りと愛着を一層確かなものにするとともに新たな文化を生み出し、これらを地域の活性化や観光の振興につなげることなどにより、まちを躍動させることが求められている。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で、記事・議会議事録等を添付

- ・市民アンケートを実施し、郷土・歴史遺産に関する意識調査を行った。
- ・計画実行による来訪者数などの調査を行った。
- 宗像大社・中津宮・遙拝所参拝者状況、宗像市観光物産館(道の駅むなかた)利用状況

進捗状況 計画年次との対応

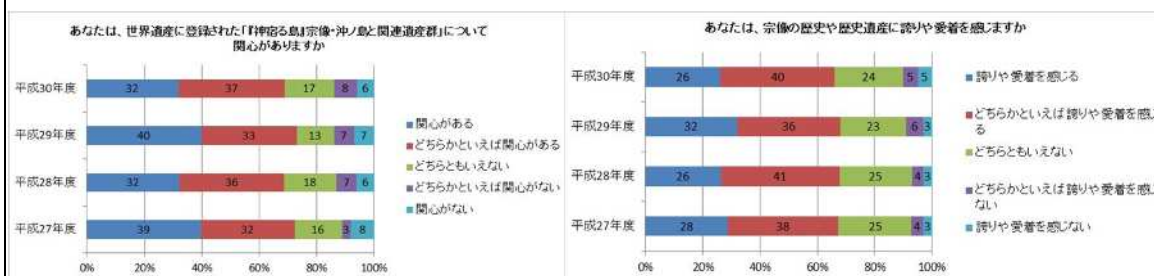
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- ☐ 計画の進捗に影響あり
☒ 計画の進捗に影響なし

住民意識については、世界遺産登録前において関心を集めていたが、今年度は登録前の数値に近いことが分かった。本計画における事業を効果的に推進することで、住民意識の向上や啓発につなげる。

状況を示す写真や資料等

住民意識



観光振興等

宗像大社・中津宮・遙拝所参拝者状況

(単位:人)

年次	総数	宗像大社・中津宮	宗像大社・中津宮	宗像大社・中津宮・遙拝所
平成29年	913,513	841,105	33,272	39,136
平成30年	1,020,801	952,392	36,151	32,258

宗像市観光物産館(道の駅むなかた)利用状況

法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	平成30年度
法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称:宗像市歴史的風致維持向上計画推進協議会	
会議等の開催日時:平成31年3月14日午前10時30分	
(コメントの概要)	
本日の議事録の要約をコメントとして記載します。	
(今後の対応方針)	